

# 令和5年度 学校運営協議会 議事録

下野市立南河内小中学校

日時 5月17日(水) 9:30~

参加者 学校運営協議会委員

荻原 剛 様 坪山 仁 様 影山 政夫 様 原 安礼 様  
稲見 俊幸 様 川田 玲子 様 横島 絹子 様 海老原 忠 校長  
岡本 直美 教頭 稲見 雄太 教頭 芋川 晴恵 教諭 上野 達也 教諭  
黒崎 智照 地域連携教員 阿部正明 地域連携教員

地域学校協働活動推進員 上野 保久 様

欠席者 委員 松本 文男 様

- 1 開会
- 2 学校長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 任命書授与(代表受領:影山 政夫 様)
- 5 学校運営協議会についての説明 運営マニュアルの確認
- 6 学校運営協議会長等の選出  
会長 松本 文男 様 副会長 稲見 俊幸 様
- 7 学校運営協議会年間予定について(教頭)  
第3回の期日が11月7日から11月6日に変更になりました。
- 8 協議

- ① 教育目標及び学校経営計画(校長) 「学校概要」「学校経営計画」より説明
  - ・ 御家庭、地域の皆様には、放課後や休日における児童生徒の安全確保への協力をお願いしたいと考えています。
  - ・ キーワードは「つなぐ」です。昨年度と同様ですが、今年度は前期課程と後期課程をつなぐ意識を高めていきます。
  - ・ 活動を計画する際には、前期課程と後期課程をどのように「つなぐ」ことができるかを意識するよう教職員に声を掛けています。
  - ・ 学力と体力の向上に努め、心の安定を図ることによって不登校児童生徒の減少を目指すことが本地区での小中一貫教育の最終到達目標です。
- ② 教育課程編成(教頭)
  - ・ 9年間の学びのつながり  
各教科において系統性を意識した教科指導の充実に努め、年に数回、授業公開も行っています。また、研究授業では前期課程と後期課程の職員が交流しながら授業について協議します。  
授業に関しては、前期課程でも一部、教科担任制を取り入れています。後期課程の音楽科の教員が6年生の音楽の授業を行ったり、美術科の教員が5、6年の図工のTTとして授業に入ったりしています。また、前期課程の教員が7年生の数学の授業にTTとして入っています。教員にとっても児童生徒にとってもプラスの影響が期待されます。  
児童生徒の特性に応じた対応ができるように、児童生徒に関する情報共有を行っています。6~9年生が同じ保健室を使用することで、保健室を核とした前期課程から後期課程へのつながりができています。

- ・ 知、徳、体のバランスのとれた児童生徒の育成
  - 1～9年生の縦割り班で共遊や清掃を行ったり、1～9年生で体育祭等の行事に取り組んだりします。委員会活動では、昨年度の反省を生かし、前期課程児童の活躍の場を増やすために、委員会のチーフを前期課程の教員が担当する委員会を増やし、小学校の視点からも活動内容を考えられるようにしました。
  - 持久走記録会や体力向上E Tによる授業を取り入れ、体力の向上を意識していきます。
- ・ 落ち着いた学校生活を送るための日課の工夫
  - 前期課程と後期課程の日課をそろえました。朝の活動の時間に姿勢と整える「立腰」の時間を設けました。

### ③ 学校運営等に関する質疑・応答

- (委員) 教科担任制について、英語や算数などもそうなるのですか。
- (校長) 英語は担任とALTで行っています。英語専科の教員が配置できれば、教科担任制にできます。算数については、前期課程の学習内容には専門的な部分が少ないので、今のところは担任が授業をした方がよいと思っています。
- (教頭) 理科を専門で教える教員を加配という枠で入れられたので、3年生以上で教科担任制がとれています。
- (委員) 後期課程について5月後半から6月にかけて過密スケジュールになっていることが気になりました。地区総体の時期が早まっているので、中間テストの時期は早らせないのでしょうか。
- (教頭) 地区総体の日程は学校単位では決められないですし、修学旅行の日程もあまり自由がききません。中間テストの時期については、昨年度検討を重ねた上でその予定になりました。少しでもゆとりが持てるような組み方にしていきたいと思っています。
- (委員) 夕顔祭について、どのような内容を考えていますか。発表はありますか。
- (校長) 発表を通して前期課程と後期課程の交流ができるとうよいと思います。具体的な内容については今後話し合っ決めていきます。
- (委員) 学校課題について、昨年度のテーマについての成果等を教えてください。地域連携活動はどのような方にどのように連絡をとっていますか。SCは毎年同じ人ですか。
- (校長) 昨年度のテーマはコミュニケーション能力の育成でした。コミュニケーション能力については、はっきりとした成果を示すのは難しいですが、各教員が授業の中での話し合い活動の取り入れ方を工夫するなど、授業の進め方が改善されました。
- 地域連携活動に関しては、生涯学習情報センターに依頼したり、出前授業等で講師を招いたりして取り組んでいます。
- SCは前年度の職員が退職したため、1年で交代しました。本校には、SCだけでなく、SSWという職員もいます。
- (委員) 南河内小中学校の運営協議会発足前に漠然としていたものが、よく見えてきました。開校2年目となり、今年度の努力点も分かりやすく収束してきています。学力の面はテスト等で成果が見えますが、心の部分はなかなか見えにくいです。差し支えない範囲でよいので、問題点や改善策等を見える形で表していただけるとありがたいです。体力の面では、子供たちの興味関心を生かした活動に取り組むとよいのではないのでしょうか。

### ④ 基本方針の承認(教頭)

すべての協議事項に承認をいただきました。

## 9 その他

(推進員) 学校経営計画では、体力の向上が重点の一つになり、基本的な生活習慣については日常指導となりました。昨年度一年間、朝の登校する様子を見てきましたが、挨拶が元気にできる子やできない子、様々でした。スクールバスの子は、全員が元気に挨拶できる号車があります。挨拶は学校だけでなく、家庭での声掛けも大切だと思うので、学校、保護者、地域で連携してよい挨拶ができる子供たちを育てていけるとよいと思います。

(委員) 通学中に危ない自転車の乗り方をしている生徒が見られます。気を付けるように口で言うだけでなく、具体的に安全な乗り方を指導する必要があるのではないのでしょうか。

## 10 閉会

